

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立開成小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童（生徒）の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童（生徒）一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童（生徒）の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和7年4月17日(木)

■ 調査の対象学年

小学校6年生児童(中学校3年生生徒)

■ 調査の内容

(1) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童(生徒)に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 学習に対する興味・関心、授業内容の理解度、 基本的な生活習慣、家庭学習の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、 学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

(2) 教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

■ 教科に関する調査結果及び考察について

全国学力・学習状況調査は、小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語、算数・数学、理科に限られています。さらに、出題は、各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり、「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご覧ください。

■調査結果及び考察

1 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

(1) 結果

※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と肯定的に回答した児童(生徒)の割合。

佐賀市学校教育ビジョンに関連する調査項目	本校 %	全国平均 %
学校に行くのは楽しいと思う。	84.6%	86.5%
将来の夢や目標を持っている。	80.7%	83.1%
自分には、よいところがあると思う	82.7%	86.9%
学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている	77.0%	84.9%

4つの項目全て、肯定的な回答が全国平均を少し下回りました。

その中で、「学校に行くのは楽しいと思う」と「自分には、よいところがあると思う」の項目では、「当てはまる」と回答した児童が全国平均を少し上回っていました。

家庭学習の様子に関する調査の項目	本校%	全国平均 %
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	7.7%	12.1%
「2時間以上、3時間より少ない」	17.3%	12.8%
「1時間以上、2時間より少ない」	32.7%	29.1%
「30分以上、1時間より少ない」	36.5%	27.4%
「30分より少ない」	1.9%	12.9%
「全くしない」	3.8%	5.7%

家庭学習については、「30分以上、1時間より少ない」と回答した割合が最も多く、次に多いのが「1時間以上、2時間より少ない」という結果でした。1時間未満の児童が4割以上でしたが、30分未満の児童の割合は、全国平均を下回っていました。

(2)改善に向けての取り組み

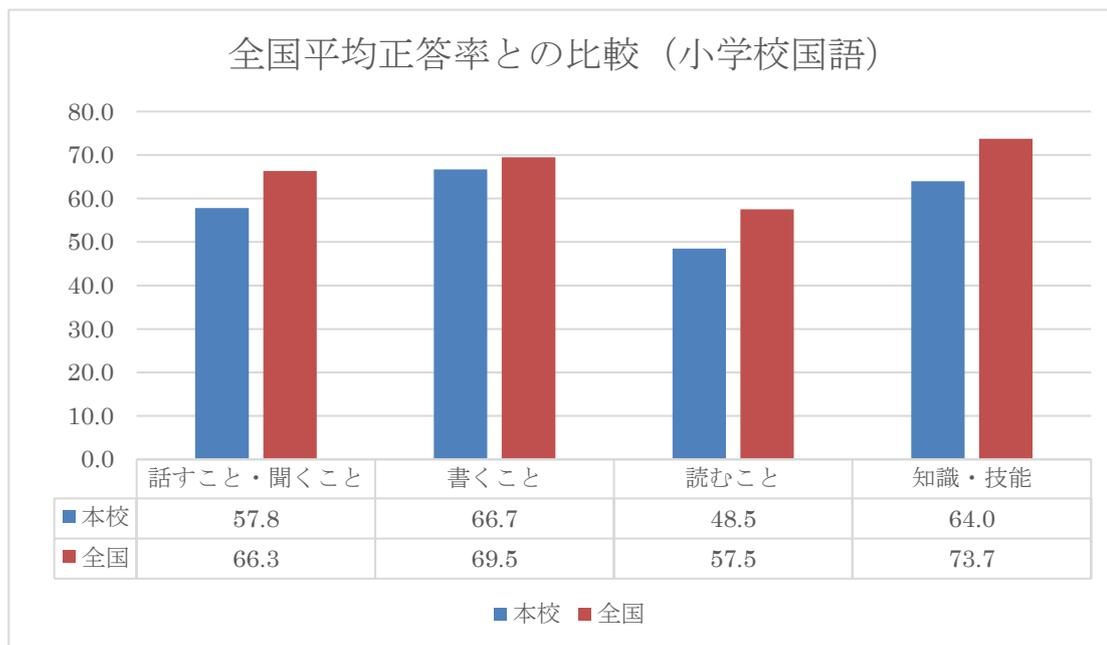
【学校では】

- 主体性を伸ばすための3つの力「自律」「尊重（自由の相互承認）」「創造」を育てていきます。「学校に行くのは楽しい」と子どもたちが思えるように、学びの楽しさに気付き、主体的に学習を進めていけるよう、日々授業改善を行って授業づくりをしています。
- 学校からは、学年に応じた宿題を出しています。自主学習(自学)についても、手本となる自学ノートを掲示したり、いろいろな自学の内容を紹介したりすることを継続していきます。学習用端末も効果的に活用し、個に対応した指導を行っています。
- 「ぼかぼかの木」等の取組を通して、友達のよさやがんばりに目を向けさせ、認め、支え合う学校作りを進めます。全職員で、ほめ、励ます指導・支援を続けていきます。

【ご家庭では】

- 家庭学習の時間や内容を示した「家庭学習の手引き」を今一度ご確認いただき、家庭学習の充実を図っていただきたいと思います。お子さんが、自分なりに目標を達成できた時は、ほめることで意識が更に高まると思います。
- 基本的な生活習慣の確立やテレビ・ゲームの時間を決めるなど、家庭でのルール作りにもご協力ください。

2 国語



(1) 結果

全ての領域で、正答率が全国平均を下回りました。「書くこと」についての内容と記述式の問題では、全国平均に近い正答率でしたが、その他は正答率が全国平均より低くなっています。

(2) 成果と課題

目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように工夫して記述する問題や、文章全体の構成を考えて用紙を把握する問題では、全国平均に近い正答率でした。

長文を読んで意図に応じて話の内容を捉えたり、複数の資料を読み、目的に応じて必要な情報を見付けたりする問題の正答率が低いという傾向が見られました。

(3) 学力向上のための取り組み

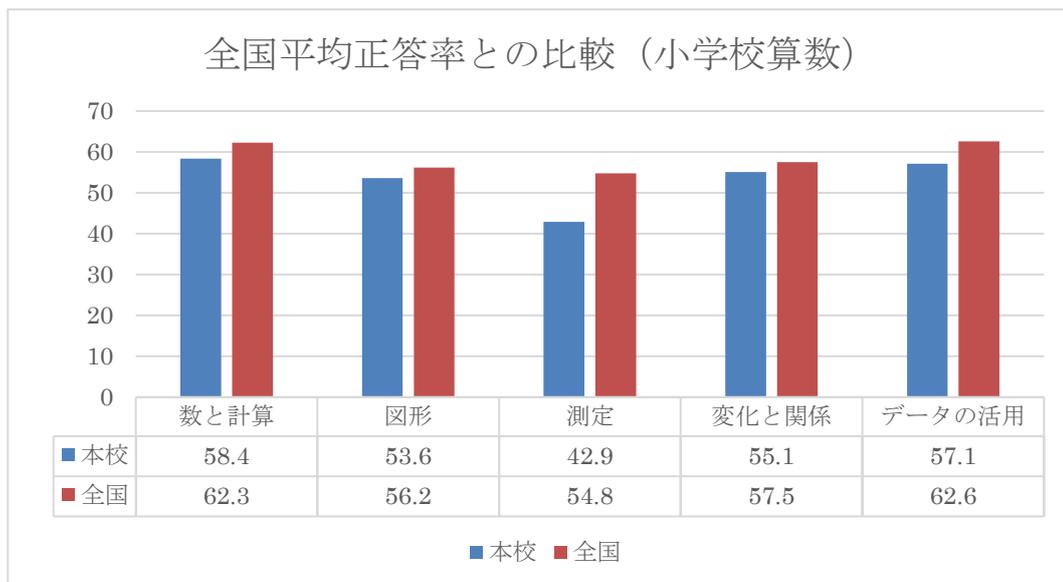
【学校では】

- 長文を読み、叙述に沿って全体像をつかんだり、必要な情報を見付けたりする学習に取り組みます。
- 目的や意図に応じて、自分の考えとその理由を明確にしながらかく機会を増やします。
- 様々な教科の学習で、文字数やキーワードを入れるなどの条件に合わせて書いたり、必要な情報と関連付けて自分の考えをまとめたりする活動を行います。

【ご家庭では】

- 音読を大切にしていましよう。繰り返し音読をすることで、文の構成、言葉の意味を理解し、文節ごとにきちんと区切ってすらすら読めるようになります。文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく全ての教科の学力向上に不可欠です。
- 読書を大切にしていましよう。文学・科学・歴史・地理・・・いろいろな本を読み、様々な表現や用語に触れることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。図書館や書店に定期的に行くことも、読書習慣を身に付ける上でおすすめです。

3 算数(数学)



(1) 結果

全ての領域で、正答率が全国平均を下回りました。特に、「測定」の領域で正答率の低さが見られます。

記述式の問題は、全国平均に近い正答率でした。無解答率が全国平均より低く、粘り強く取り組むことができていました。

(2) 成果と課題

角の大きさについての問題や、伴って変わる2つの数量の関係から必要な数量を求める問題で、正答率が全国平均を上回っていました。

はかりの目盛りを正確に読むことや、小数のたし算で相対的な大きさを用いて共通する単位を捉えることに課題が見られました。

(3) 学力向上のための取り組み

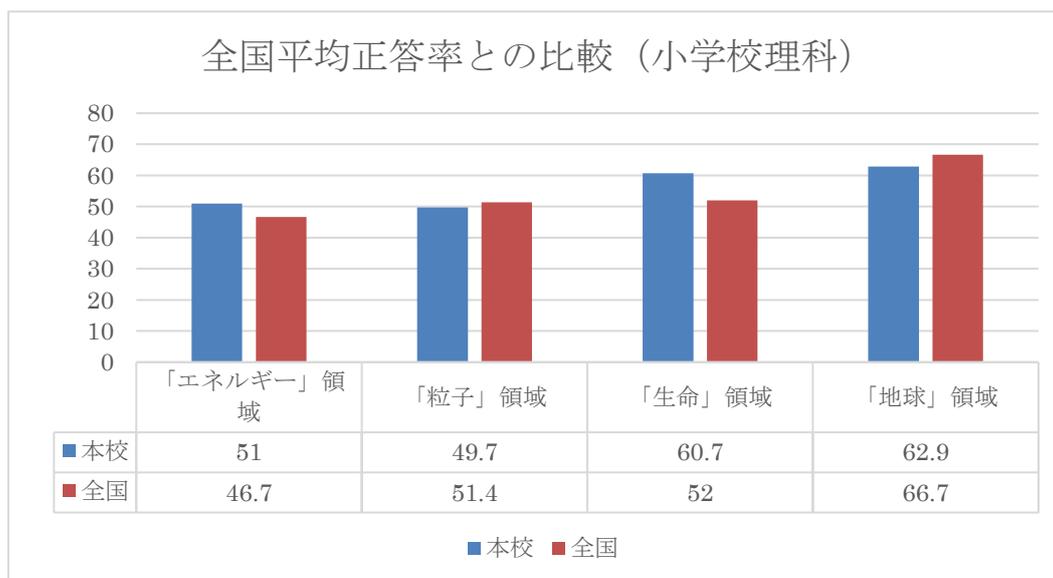
【学校では】

- スキルタイム等で復習を徹底し、基礎基本の定着を図ります。
- 問題の答えを求めるだけでなく、式の意味を考えさせたり、自分で問題を作らせたりしながら、式・絵や図・数直線等に関連させて考える学習を取り入れます。
- 授業では、単元計画表に基づいて見通しをもって学習に取り組めるようにし、主体的に自分の考えをもって友達と学び合い、理解を深められるようにします。

【ご家庭では】

- お子さんの学習について、宿題プリントやドリル等をしている様子やテストをご覧になって、励ましや称賛の言葉をたくさんかけてください。
- 算数を好きにするには、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」と感じる経験をさせることが有効です。「お菓子分けでわり算」「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で暗算」「折り紙で分数」「家の中で図形探し」等、身の回りには算数の学習を使えるものがたくさんあります。

4 理科



(1) 結果

「エネルギー」「生命」の領域で、全国平均を上回りました。記述式問題での無解答率も全国平均より低くなっていました。

(2) 成果と課題

「知識・技能」に関する問題の正答率が全国平均より高く、特に、乾電池のつなぎ方や顕微鏡の操作に関する問題では、全国平均をかなり上回っていました。選択式の問題での正答率が高く、知識を身に付け、問題文を読んで正しい答えを選ぶことがよくできていました。

「思考・判断・表現」に関する問題での正答率は、全国平均より少し低くなっていました。問題の情報量が増えると、問題に必要な情報を抜き出して考えることが難しい傾向が見られました。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 授業の中で、児童が自分自身で問題を見付けたり、実験方法を考えたりする活動を多く取り入れていきます。
- 3年生は問題を見付けること、4年生は予想を立てること、5年生は方法を考えること、6年生は考察することが重点とされています。必要な知識を覚えるだけでなく、学年毎に重点とされている力を積み重ねていき、課題解決に必要な力を伸ばしていきます。
- 問題を解決するための体験的な活動を多く設定することで、実感を伴った理解を深めます。

【ご家庭では】

- 児童の興味・関心のある様々な自然事象を経験する機会を設けてください。植物や生き物を育ててみる、天気の違いについて話をする等、身近な自然を生かした体験を増やしてください。
- 佐賀県立宇宙科学館や佐賀県立博物館などのイベントチラシ等も配布しています。お時間があるときに一緒に行ってみることで、興味関心が向上することもあります。